



下北教育事務所
QRコード

社会教育だより「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

ユメココ展示会

～7月19日(月)～24日(土) むつ来さまい館～

青森県教育支援プラットフォーム下北地区実行委員会が、下北管内の小中学校を対象に実施しているユメココ教室(仕事体験出前授業)を広く一般の地域住民にも紹介するため、ポスター展を開きました。各企業・事業所等の工夫を凝らしたポスターに来場者も熱心に見入るなど、地域が支えるキャリア教育の大切さを改めて感じさせる展示会でした。



ユメココ展示会に出展した13の企業・事業所等

株式会社 東京堂	防衛省白衛隊青森地方協力本部 むつ地域事務所
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構	むつ警察署
下北建設業協会	むつ消防署
下北地方森林組合	むつ市地域学校協働本部(大湊小学校子ども教室)
下北半島ネットワーク機構アグリ部門 バリーオーチャド下北	有限会社 カワシタ電業
社会福祉法人青森社会福祉振興団 みちのく荘	有限会社 眞心堂
ダイニングバー 下北バル	

地域との連携を担う教職員研修

～7月6日(火) むつ来さまい館～

下北管内小中学校の教職員22名が参加し、地域との連携・協働の必要性や地域学校協働活動について理解を深めました。

○講義・情報交換

「地域とともにある学校づくり～ニツ井小学校の取組～」
講師：秋田県能代市立ニツ井小学校 校長 佐藤 潔 氏



○事例紹介

「私たちが つながる つなげていく 地域学校協働活動」
発表者：青森県教育庁生涯学習課
地域学校協働活動コーディネートアドバイザー 工藤 知久子 氏



【講師から】

○社会に開かれた教育課程を実現するために必要な体制づくり

- ・地域学校協働活動
 - ・コミュニティ・スクール
 - ・社会教育主事
- 効果的な活用



○地域学校協働活動推進員の人選

- ・PTAのOBや退職教職員、地域の名士に声かけを!
- ・個々にお願ひするより、複数にお願ひすると口コミで広がり協力を得やすい。

○活動実践例

- ・1年生の給食補助
- ・家庭科ミシンの学習
- ・丸つけ
- ・新体力テスト補助
- ・音読や九九を聞く
- ・畑作業補助
- ・来校者検温支援
- ・入試面接練習(中学校) など



事例紹介(青森市の取組)



情報交換後のグループ発表



講師から各グループへの助言

【事例発表者から】

- A小学校では、4月に全保護者へ活動別ボランティアアンケートを、地域と町内会へは協力依頼とボランティア募集のチラシを配布し、5月にボランティア名簿を作成している。
- その後、担当教諭との打合せやボランティアとの連絡調整を行い、給食補助や校外学習の引率、クラブ活動の講師など地域学校協働活動の実施と活動の振り返りを行っている。
- 2、3月には、次年度の教育課程に沿った活動について学校側と協議している。

○活動実践例

- ・放課後学習(週2回)
- ・英語学習補助
- ・校外学習引率
- ・図書室整備
- ・職業講話講師
- ・漢検、英検監督(土曜日)
- ・昔遊び
- ・クラブ活動講師
- ・スキー学習補助 など

地域学校協働活動は、「夢に向かい、自分らしく、たくましく、郷土を愛する、地域で活躍できる子どもたちを育てための活動」です。

子どもたちの未来のために、今、私たちができることを一緒につないでいきましょう!

【参加者の声】

☆講義

- ・具体的な内容で大変参考になりました。それぞれの活動に先生方の負担感が感じられないのは、活動推進員の存在が大きいと思いました。
- ・学校がこうしたい、これをやりたいという明確なビジョンがあれば、おのずと地域の方々も一緒に活動するのだろうと思います。何よりも「持続可能な地域を目指して」という言葉が心に響きました。

☆事例紹介

- ・学校と地域をつなぐ様々な活動事例を知ることができました。本校学区ではまだコミュニティ・スクールの設置ができていませんが、大変参考になりました。

☆情報交換

- ・様々な疑問に対する回答に、大変説得力がありました。わかりやすい説明、ありがとうございました。
- ・地域格差はどうしても埋めきれないところがあります。よりよい活動をするには、地域連携を恐れず取り組まなければならないと思います。



下北ジオパーク子ども研究室

～7月4日(日)、8月7日(土)、21日(土) むつ来さまい館～

小学生を対象に、地球科学を楽しく学ぶ「下北ジオパーク子ども研究室」が、7月から8月にかけて3回実施されました。参加した子どもたちは、実際に流れる水や砂の模型、岩石に触れ、興味津々の様子で楽しみながら学習していました。

	内 容
1	河川を再現する模型「エムリバー」を使って、川の成り立ちと流れる水のはたらきを観察する。
2	下北に見られる岩石で「オリジナル標本シート」を作って、身近な岩石の特徴を観察する。
3	「エムリバー」を使って川で起こる災害について考える。



こんなふうにも流れるんだ



あつ!磁石にくっついた



木の模型を並べて